

公開実用平成 4-60696

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U)

平4-60696

⑬ Int. Cl.³

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 平成4年(1992)5月25日

B 26 D 1/38
B 65 H 20/04
G 03 G 15/00
H 04 N 1/00

A 7604-3C
A 7018-3F
1 1 1 7369-2H
1 0 8 D 7170-5C

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全 頁)

⑮ 考案の名称 カッター装置

⑯ 実 願 平2-102059

⑰ 出 願 平2(1990)9月27日

⑱ 考 案 者 中 尾 哲 也 東京都大田区中馬込1丁目3番6号 株式会社リコー内

⑲ 出 願 人 株 式 会 社 リ コ ー 東京都大田区中馬込1丁目3番6号

⑳ 代 理 人 弁 理 士 有 我 軍 一 郎

明 細 書

1. 考案の名称

カッター装置

2. 実用新案登録請求の範囲

ロール用紙を駆動軸に取り付けられた一对の送りローラーによって搬送し、該搬送されてきたロール用紙を導入部へ導入して所定の長さでカットするカッター機構を内蔵するカッターユニットが搭載されたカッター装置において、

前記送りローラーの駆動軸とカッターユニットの間に該カッターユニットを位置決めするとともに、該カッターユニットの導入部と該送りローラーとの間に一定の隙間を形成する調整部材を取り付けたことを特徴とするカッター装置。

3. 考案の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

本考案はカッター装置に関し、詳細には、送りローラーとカッターユニットの位置決めを容易に行えるようにしたカッター装置に関する。

〔従来の技術〕

情報化時代にあつて、情報の記録紙への記録を行う装置、例えば、ファクシミリ装置やプリンタ等が普及し、このような装置にあつては、記録情報のサイズにかかわらず記録が行えるように、ロール状の記録紙が使用されることが多い。

このようなロール状記録紙を使用した装置にあつては、従来から記録の終了したロール状記録紙を切断する必要がある、切断を行うカッター装置等を備えている。

このようなロール状記録紙を使用した装置に備えられているカッター装置としては、従来、例えば、第 2 図に示すようなものがある。

第 2 図のカッター装置 1 では、ロール紙 2 をプレッシャーローラー 3 と送りローラー 4 で搬送してカッターユニット 5 の導入部 5 a に導入し、ロール紙が所定長さ搬送されたところでカッターユニット内のカッター機構 6 によってカットされて排紙されるようになっている。カッターユニットの導入部 5 a と送りローラー 4 の間には隙間 a が

形成されるようにカッターユニット 5 のベース 7 への取り付け位置が組付け時に調整されており、隙間 a はロール紙 2 がカッターユニット 5 の下側に入らないように調整されている。なお、8 はカッターユニット 5 をベース 7 に固定するためのビスである。

〔考案が解決しようとする課題〕

しかしながら、このような従来のカッター装置にあっては、カッターユニットの導入部と送りローラーとの間に形成する隙間の寸法を精度良く調整することが要求されるため、カッターユニットを組付ける際の位置調整に時間を要し、カッター装置全体の組立時間を長引かせる原因となっていた。

〔考案の目的〕

そこで、本考案は、カッターユニットと送りローラーの駆動軸の間に該カッターユニットを位置決めするとともに、カッターユニットの導入部と送りローラーの間に一定の隙間を形成する調整部材を取り付けることにより、カッターユニットを

位置決めするための調整作業を不要にして、カッター装置の組立時間を短縮することを目的としている。

〔課題を解決するための手段〕

本考案は、上記目的を達成するため、

ロール用紙を駆動軸に取り付けられた一對の送りローラーによって搬送し、該搬送されてきたロール用紙を導入部へ導入して所定の長さでカットするカッター機構を内蔵するカッターユニットが搭載されたカッター装置において、

前記送りローラーの駆動軸とカッターユニットの間に該カッターユニットを位置決めするとともに、該カッターユニットの導入部と該送りローラーとの間に一定の隙間を形成する調整部材を取り付けたことを特徴とするものである。

以下、実施例に基づいて具体的に説明する。

第1図は本考案のカッター装置の一実施例を示す図であり、第1図において上記従来の第2図で示したカッター装置と同一部分には同一番号を符して説明を省略する。

第 1 図のカッター装置 11 は、カッターユニット 12 の導入部 12 a と送りローラー 4 との間に形成される隙間を一定とするために、位置決め部材（調整部材）12 b が設けられており、位置決め部材 12 b は、その先端形状が送りローラー 4 の駆動軸 4 a に懸かるようにコの字型に形成されている。カッターユニット 12 を組付ける際には、位置決め部材 12 b のコの字型部分を駆動軸 4 a に懸けてからベース 7 にビス 8 で固定すれば、導入部 12 a と送りローラー 4 の間に一定の隙間が形成され、カッターユニット 12 も位置決めされる。

したがって、カッターユニット 12 をベース 7 に位置決めする際に位置決め部材 12 b によって無調整で導入部 12 a と送りローラー 4 との間に一定の隙間を形成することができ、ロール紙 2 が導入部 12 a の下側に入ってしまうことを防止して安定した送り動作を可能とするとともに、カッターユニット 12 を組付ける際の作業時間を短縮することができる。

なお、上記実施例ではロール紙 2 を搬送する部



分がプレッシャーローラー 3 と送りローラー 4 の
で構成されていたが、プレッシャーローラー 3 の
部分にサーマルヘッドを配置し、送りローラー 4
をプラテンローラーとした記録機構と搬送機構を
兼ね備えたものに対しても適用可能であることは
勿論である。

〔効果〕

本考案によれば、カッターユニットと送りロー
ラーの駆動軸の間に該カッターユニットを位置決
めするとともに、カッターユニットの導入部と送
りローラーの間に一定の隙間を形成する調整部材
を取り付けているので、カッターユニットを位置
決めするための調整作業を不要にでき、カッター
装置の組立時間を短縮することができる。

4. 図面の簡単な説明

第 1 図は本考案に係るカッター装置の一実施例
の構成を示す図である。

第 2 図は従来のカッター装置の構成を示す図で
ある。

2 …… ロール紙、

3 …… プレッシャーローラー、

4 …… 送りローラー、

7 …… ベース、

8 …… ビス、

11 …… カッター装置、

12 …… カッターユニット、

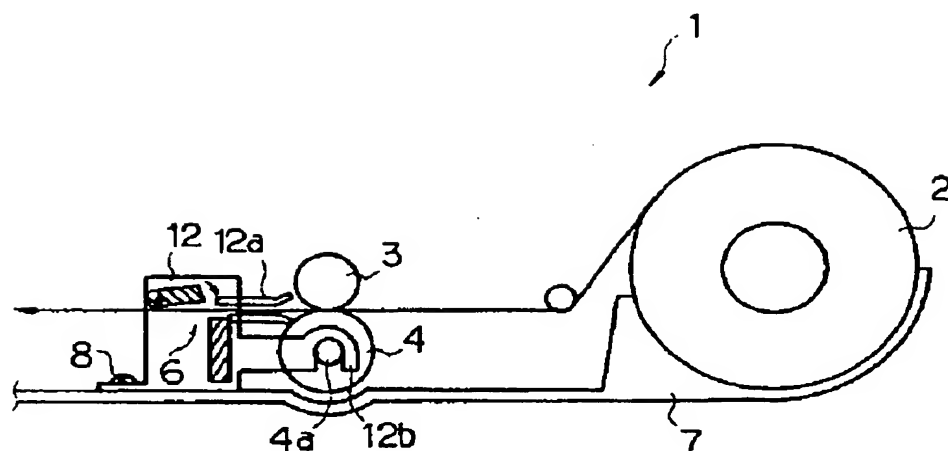
12 a …… 導入部、

12 b …… 位置決め部材。

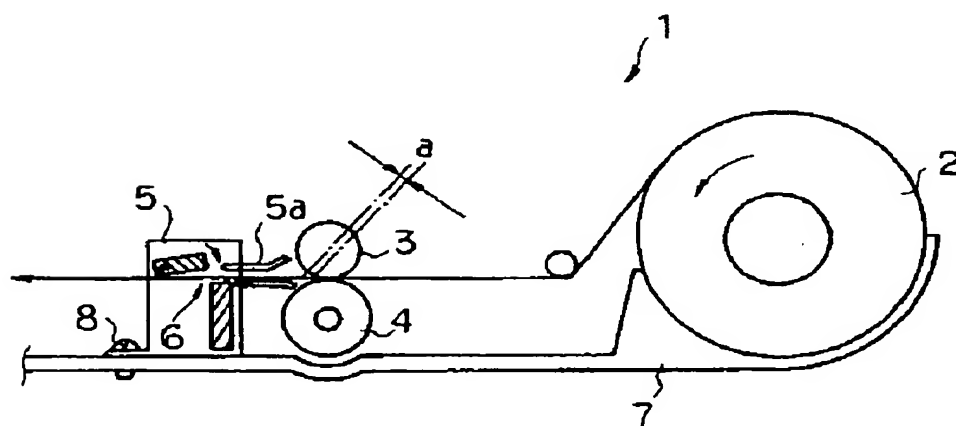
代 理 人 弁 理 士 有 我 軍 一 郎



第 1 圖



第 2 圖



1377

實 開 4-60696

代 理 人 弁 理 士 有 我 軍 一 郎